

経営比較分析表（平成29年度決算）

大分県 豊後大野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	3.20	90.33	3,606

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
36,824	603.14	61.05
處理区域内人口(人)	處理区域面積(km ²)	處理区域内人口密度(人/km ²)
1,166	0.77	1,514.29

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 平成29年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

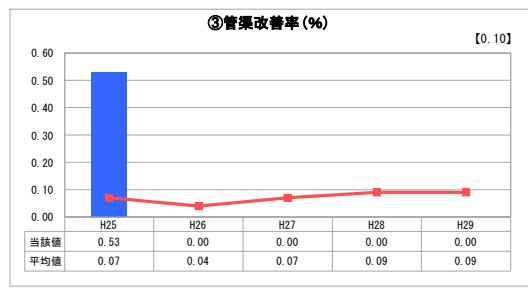
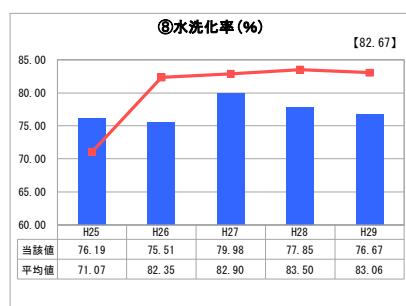
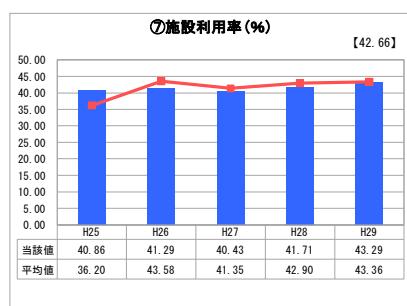
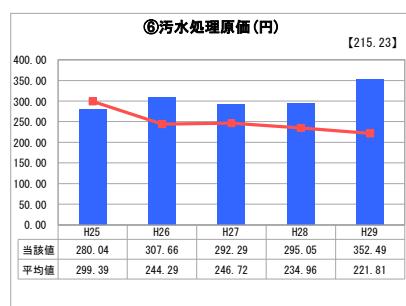
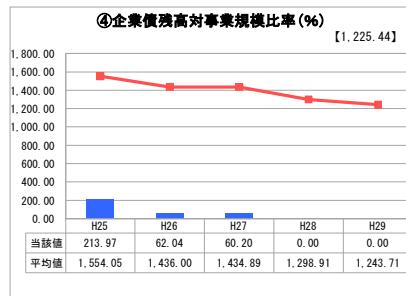
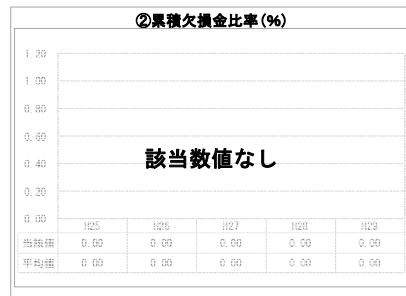
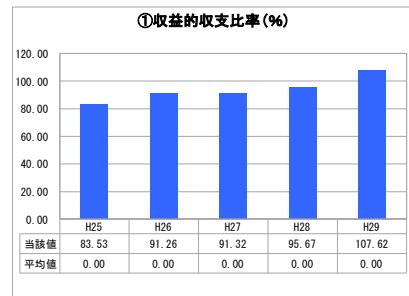
- ①『収益的収支比率』・・・総費用に地方債償還金を加えた費用を総収益でどの程度賄われているかを示す指標。企業債償還の減少に伴い徐々に改善されていますが、今後とも経費削減に努める必要があります。
- ②『累積欠損金比率(%)』
- ③『流動比率(%)』
- ④『企業債残高対事業規模比率(%)』 [1,225.44]
- ⑤『経費回収率(%)』
- ⑥『汚水処理原価(円)』
- ⑦『施設利用率(%)』
- ⑧『水洗化率(%)』
- ⑨『施設の効率性』
- ⑩『使用料対象の捕捉』

2. 老朽化の状況について

- ⑪『管渠改善率』・・・当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標。供用開始後17年経過していることから、管渠の更新は行っていない。今後も計画的に管路清掃を行い、維持管理に努めます。

全体総括

平成16年に整備完了した比較的新しい施設ではあるが、水洗化率が低く効率的な経営ができていない。経営改善のためには、今後も引き続き未接続世帯への普及と促進に努め、水洗化人口及び有収水量の増加を目指す必要があります。



※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。